

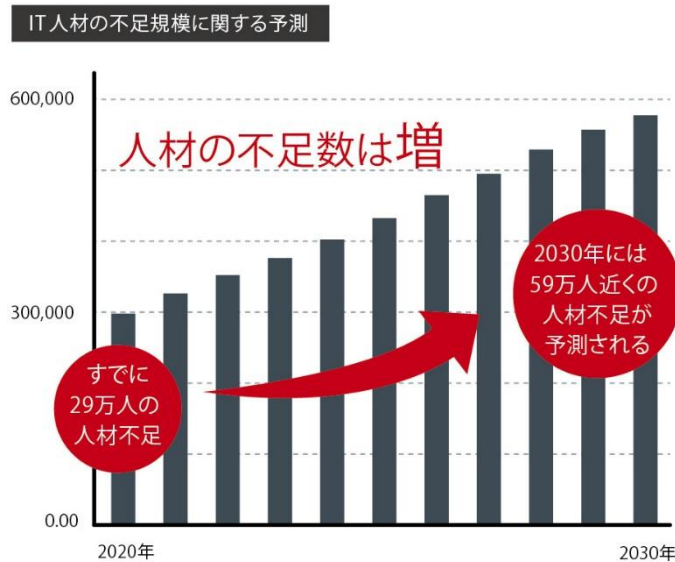
PRESS RELEASE

2019年 3月 28日

<参考資料>

■圧倒的な人材不足だから就職しやすい

経済産業省の調査によると2020年で29万人、2030年には59万人近くのIT人材が不足すると報告されています。



出典：経済産業省 IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果(2016年6月)より作成

■IT業界は年収が高く、従業員を大切にする企業文化を持つ業界です。

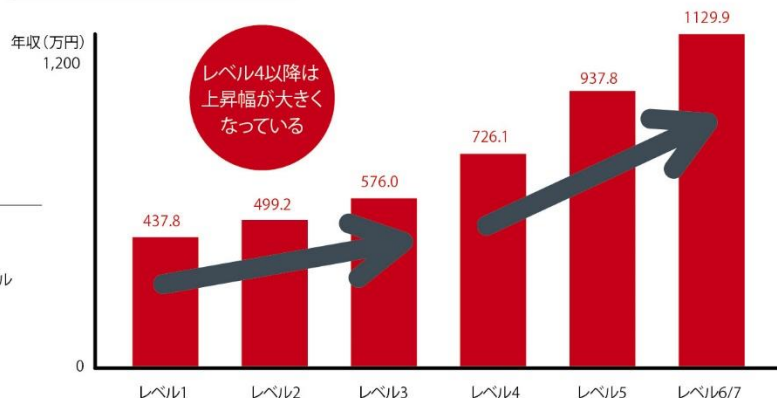
年収が高く、従業員を大切に
する企業文化を持つ業界

経済産業省の調査によると新人でも年収が400万以上。リーダーレベルで700万円以上と報告されています。企業風土が生産性を高めることから、従業員を大切にする企業も多く、大手企業ほどその傾向が高くなっています。

本調査におけるレベル説明

- レベル1 … 新人・初級者レベル/仕事に慣れ始めたレベル
- レベル2 … 上位者の指導のもとに仕事ができる若手人材レベル
- レベル3 … 独立して仕事ができる中堅人材レベル
- レベル4 … 部下を指導できるチームリーダーレベル
- レベル5 … 社内での指導者・幹部レベル
- レベル6 … 国内で著名なレベル
- レベル7 … 国際的に著名なレベル

スキル標準レベル別の年収の平均



出展：経済産業省 IT関連産業の給与等に関する実態調査結果

【取材のお申込・リリースに関するお問合せ先】

Vantan(バンタン) 広報：濱田、二日市 Tel:03.5721.6511 Fax:03.5704.2116

Mail: press_vantan@vantan.co.jp HP: <http://www.vantan.jp/>

PRESS RELEASE

■IT人材に求められるスキルは、「知識・正確性」よりも、「創造性・好奇心」といった企画力や実行力が必要とされ、そういったスキルを持つエンジニアが求められています。

求められるスキルは、「知識」よりも「企画力や好奇心」

IPA（情報処理推進機構）の発表によると、IT人材に求められるスキルは、「知識・正確性」よりも、「創造性・好奇心」といった企画力や実行力が必要となっています。更に従業員の多い企業になればなるほど、この傾向が強いとされています。プログラミングスキルは必要ですが、技術・知識だけではなく、企画力や実行力を持つエンジニアが求められています。

IT人材の分類

価値創造型

独創性・創造性
新しい技術への好奇心や適応力
問題を発見する力・デザイン力

課題解決型

IT業務の全般的な知識・業務ノウハウ
IT業務の着実さ・正確さ

IT人材に求められている「質」の不足感

価値創造型にかかわるIT人材の質

不足している **85.6%**

課題解決型にかかわるIT人材の質

不足している **78.1%**

出典：「IT人材白書2018」IPA（情報処理推進機構）

■経済産業省が情報系専門教育に対する企業からの意見要望をまとめた結果をみると「従来の情報系専門教育は資格取得を重視する傾向にあり、現場で使う実務的な教育が足りない」との意見になっています。

業界に人材を輩出する専門学校には変革が求められている

経済産業省が企業から意見要望をまとめた結果をみると、「企業との連携や実践的な教育を求めている」と記載されています。これまでの専門学校は資格取得を重視する傾向にあり、現場で使う実務的な教育が足りていないとの意見になっています。バンタンテックフォードアカデミーはこの問題を解決した、企業、地方自治体と連携し、実践力を身につけるスクールです。

教育機関と企業の連携が必要なのは

2008年にインドの大手IT企業、および大学等の視察に行きましたが、大学の情報系授業内容のレベルの高さや、企業側の学生採用方針（即戦力の人材しか取らない）を聞いて、IT先進国のインドと日本との違いに驚き、日本のIT技術の将来を憂いたのを覚えています。学生のレベルを高めると共に、産学連携を強く推進すべきと考えます。

教育機関では理論的な教育を中心に行われているが、事業者としてはサーバーやルーターなどの実務教育も更に充実させてほしい。

実践的な教育をより重視してほしい

基本情報処理等の資格は保有しているが、専門知識が身につけていない情報学部系の学生が見受けられる。プログラミングやUNIX系OSの扱いなど実践的な教育に力を入れてほしいと感じます。

実践教育が無く、障害やトラブルに対する知識経験が少ないため、現場では使えないことが多い。又、希な技術については企業としては他社との差別化のため重要視しているが、教育機関では流して終わり程度で役に立たないことが多い。

資格取得などに重きをおき、より実践的な教育がされていないことが多い。

情報系の卒業生を採用してもメリットが小さい

無意味、とまでは言わないが、役に立つことは稀。技術のみ先行で教え、できる気にさせてしまっているという印象。実際、教育で習った内容が役に立つことはほとんどなく、実践の中で覚えていくことがほとんどなのに、できるつもりであるため、うまくできなかったとき・ミスをしたときに必要以上に挫折感を味わっている印象。

ITの専門学校や学部を出ていても数年何を学習していたんだというレベルの人が多すぎる。高専のような即戦力を世の中は求めているように思うが。

出典：平成27年（2015年）1月 IT人材を巡る現状について 経済産業省 情報処理振興課

【取材のお申込・リリースに関するお問合せ先】

Vantan（バンタン）広報：濱田、二日市 Tel:03.5721.6511 Fax:03.5704.2116

Mail: press_vantan@vantan.co.jp HP: <http://www.vantan.jp/>